
2022年 9月期 第3四半期 決算説明資料

2022年 8月10日
株式会社 学研ホールディングス

INDEX

2022年9月期第3四半期 決算概要 …………… P.4

2022年9月期第3四半期 決算補足資料 …… P.22

2022年 9月期 第3四半期決算 エグゼクティブサマリー

【第3四半期業績】

売上高：1,170億円（前年同期比+3.1%） 営業利益：48億円（前年同期比 -23.2%）
四半期純利益：28億円（前年同期比+39.3%）

- ・ 連結売上高(9か月累計)は11期連続増収を記録
- ・ 営業利益は、教育分野におけるオミクロン株の影響などが、短期的なリスク要因
- ・ 四半期純利益は、前期のメディカル・ケア・サービスの連結納税化に伴う、一時的な税金増加要因の剥落により増益

【第3四半期トピックス】

- ・ 出版事業では「最強王」シリーズ*1、「学研の図鑑 LIVE」*2、「地球の歩き方」シリーズ*3などヒット作多数
- ・ 看護師向けeラーニングの契約数は前年同期比265病院増加と、高い成長率を維持
- ・ リカレント教育ニーズの高まりに伴い、グループ会社 ジェイテックスマネジメントセンターの企業向け研修売上が好調
- ・ 高齢者住宅において「学研版地域包括ケアシステム」の複合拠点として開設した吹田・甘日市の稼働は好調
- ・ 介護施設の新規開設は、サ高住3棟、認知症GH1棟で概ね計画通り。4Qの新規開設に向けた準備を進行中
- ・ 保育園のリブランディングが4月より進行中。「Gakkenほいくえん」*4にブランド変更し、装い新たに開園



2022年9月期 第3四半期決算概要

2022年 9月期 第3四半期決算 連結業績サマリー

売上高 **1,170** 億円
前年同期比 **3%** ↑

11期連続の増収トレンド継続

営業利益 **48** 億円
前年同期比 **23%** ↓

オミクロン影響長期化、前期の一過性増益の反動

EBITDA **70** 億円
前年同期比 **16%** ↓

先行投資影響

四半期純利益[※] **28** 億円
前年同期比 **39%** ↑

前期の一過性の税金負担増が解消

※親会社株主に帰属する四半期純利益

2022年 9月期 第3四半期 セグメント別業績サマリー

単位：億円

セグメント	事業	2021 第3四半期		2022 第3四半期		増減	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
教育分野		605	40	593	33	-11	-7
	教室・塾	230	4	231	6	2	1
	出版コンテンツ	245	28	246	25	1	-3
	園・学校	130	10	116	5	-15	-6
	のれん	—	-2	—	-2	—	0
医療福祉分野		487	26	534	23	47	-3
	高齢者住宅	201	9	237	9	36	1
	認知症グループホーム	248	21	254	15	6	-5
	子育て支援	39	-0	43	1	4	1
	のれん	—	-3	—	-3	—	0
その他		43	7	43	6	-0	-1
調整額		0	-10	0	-14	0	-4
グループ合計		1,135	62	1,170	48	35	-14

※億円未満は四捨五入のため、合計値が合わない箇所があります。

第3四半期 売上高推移

単位：億円

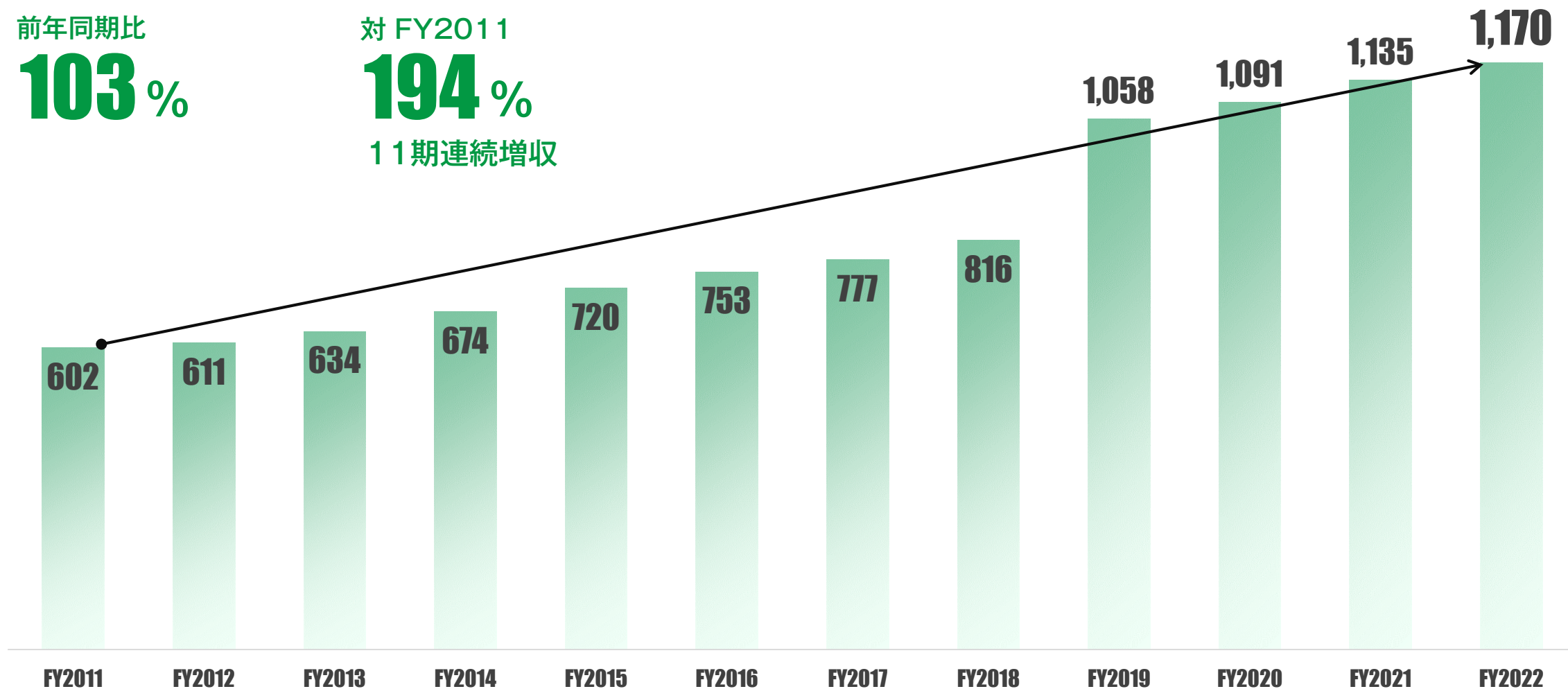
前年同期比

103%

対 FY2011

194%

11期連続増収



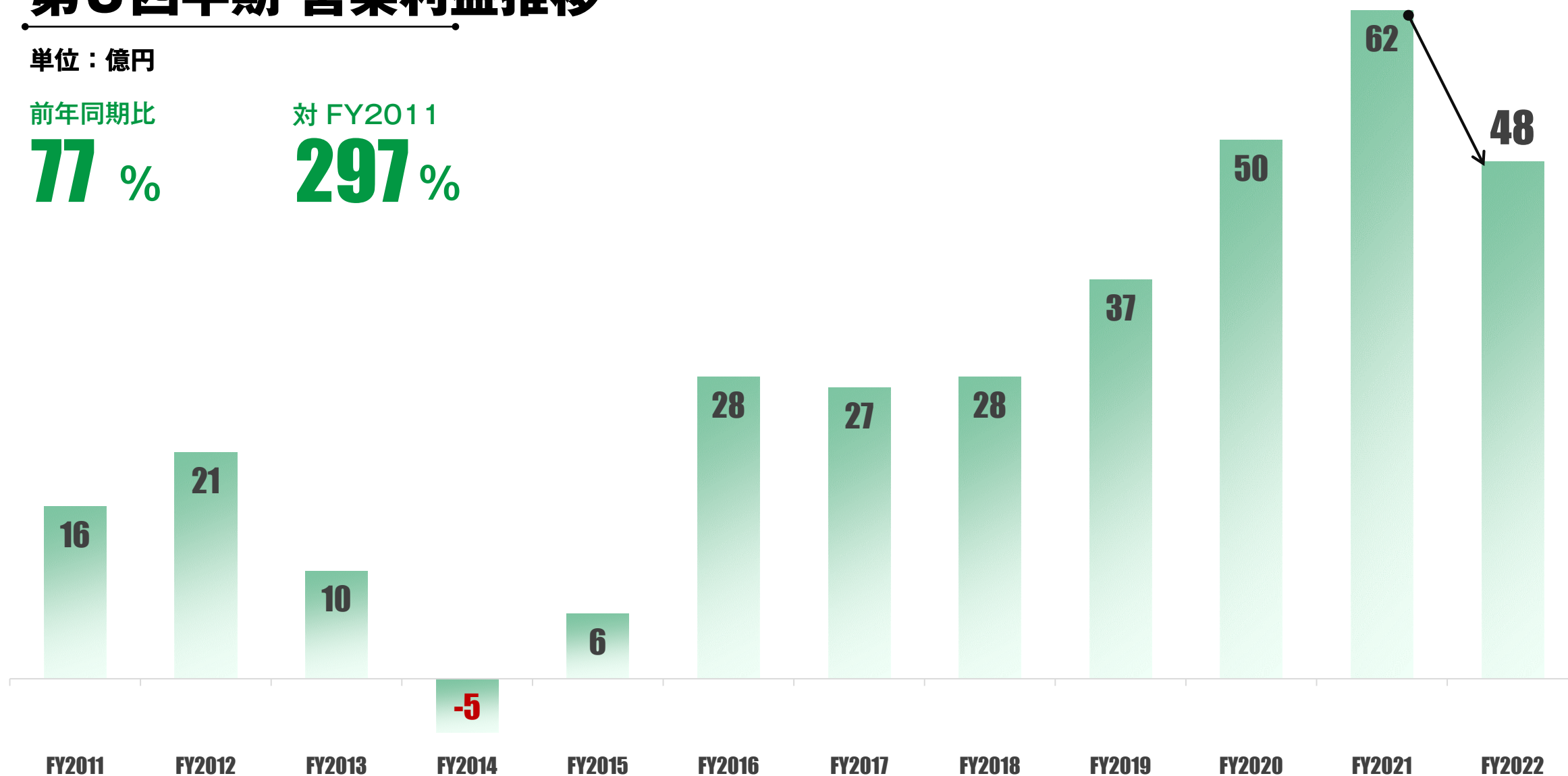
※億円未満は四捨五入です。

第3四半期 営業利益推移

単位：億円

前年同期比
77 %

対 FY2011
297 %



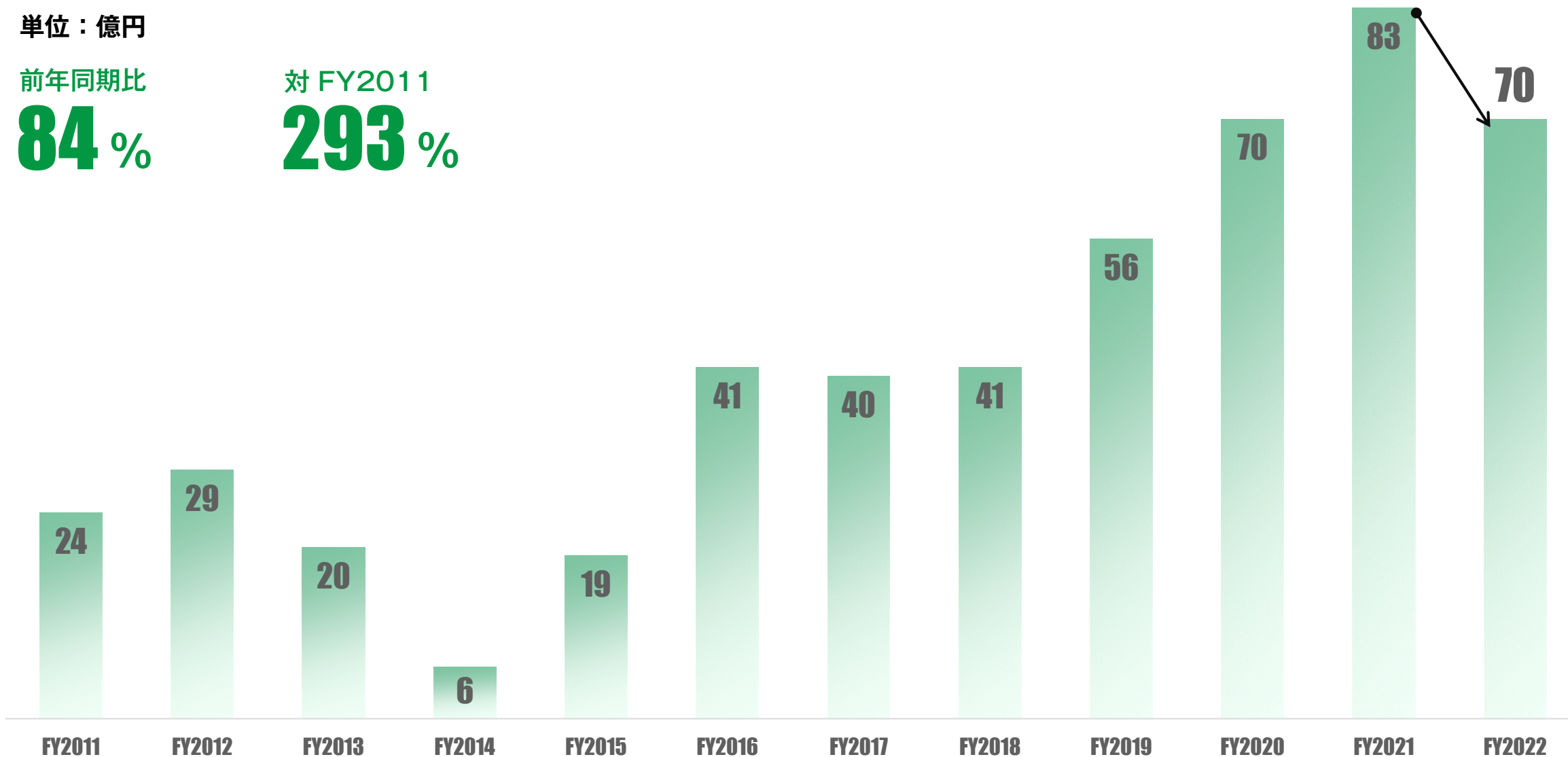
※億円未満は四捨五入です。

第3四半期 EBITDA[※] 推移

単位：億円

前年同期比
84%

対 FY2011
293%



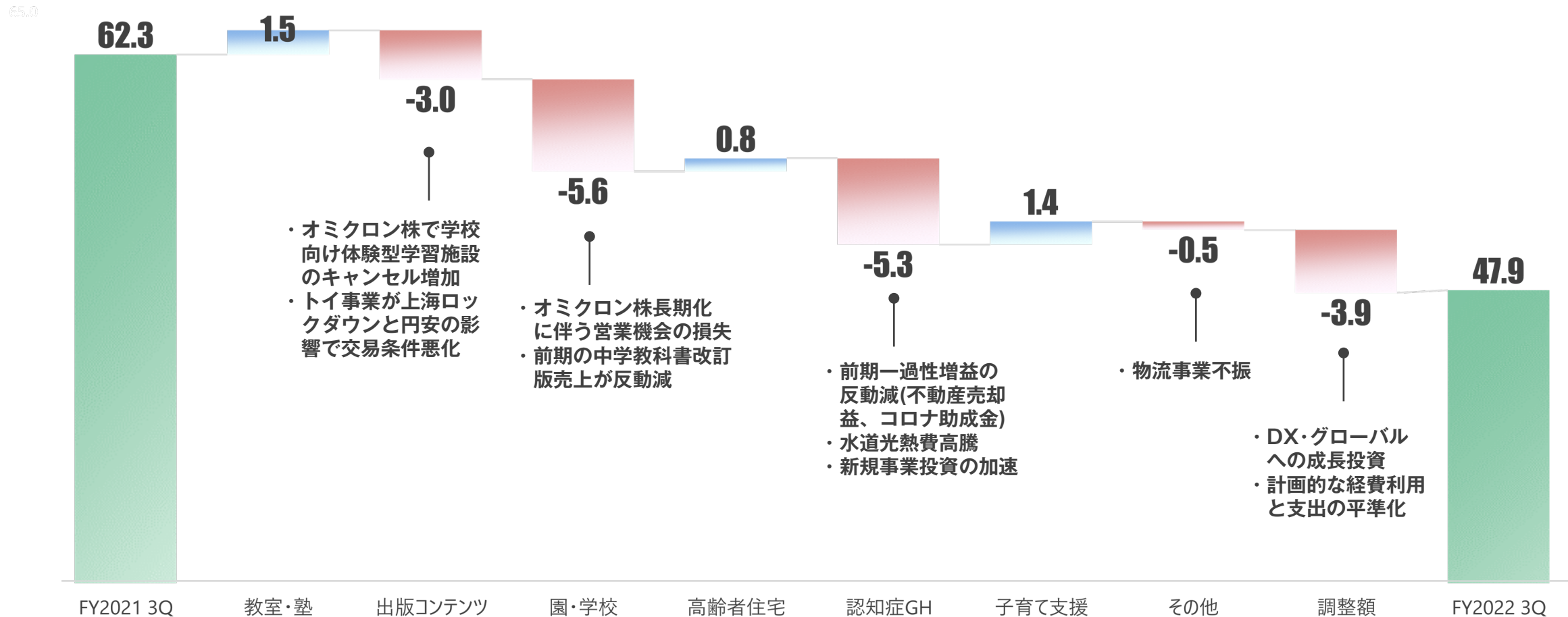
※営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算です。

※億円未満は四捨五入です。

第3四半期 営業利益 増減分析

単位：億円

前期の一過性増益要因の反動や投資増加、オミクロン株の影響長期化により減益

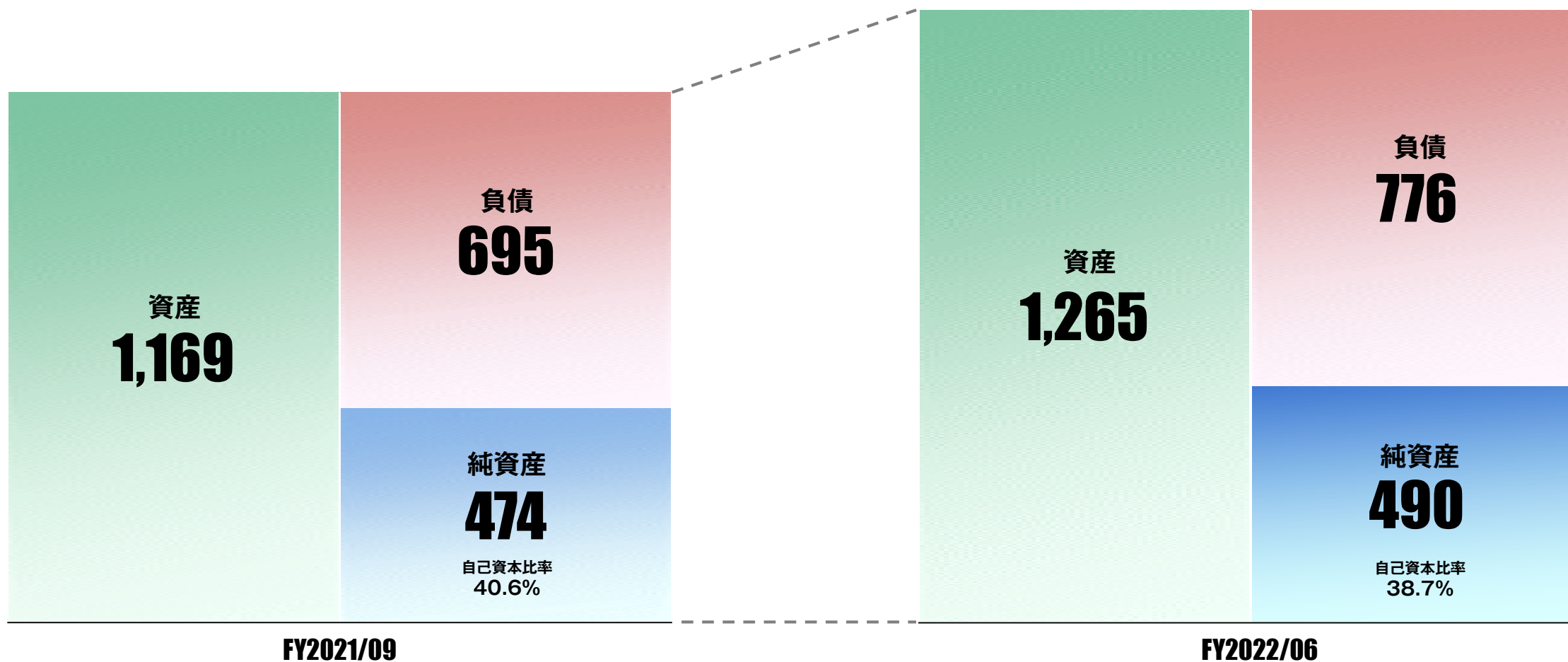


※少数点第1位未満は切り捨てです。

連結財政状態

単位：億円

自己資本比率は高水準を維持しており、今後の投資状況に特段の懸念はない



※億円未満は四捨五入のため、合計値が合わない箇所があります。

教育分野

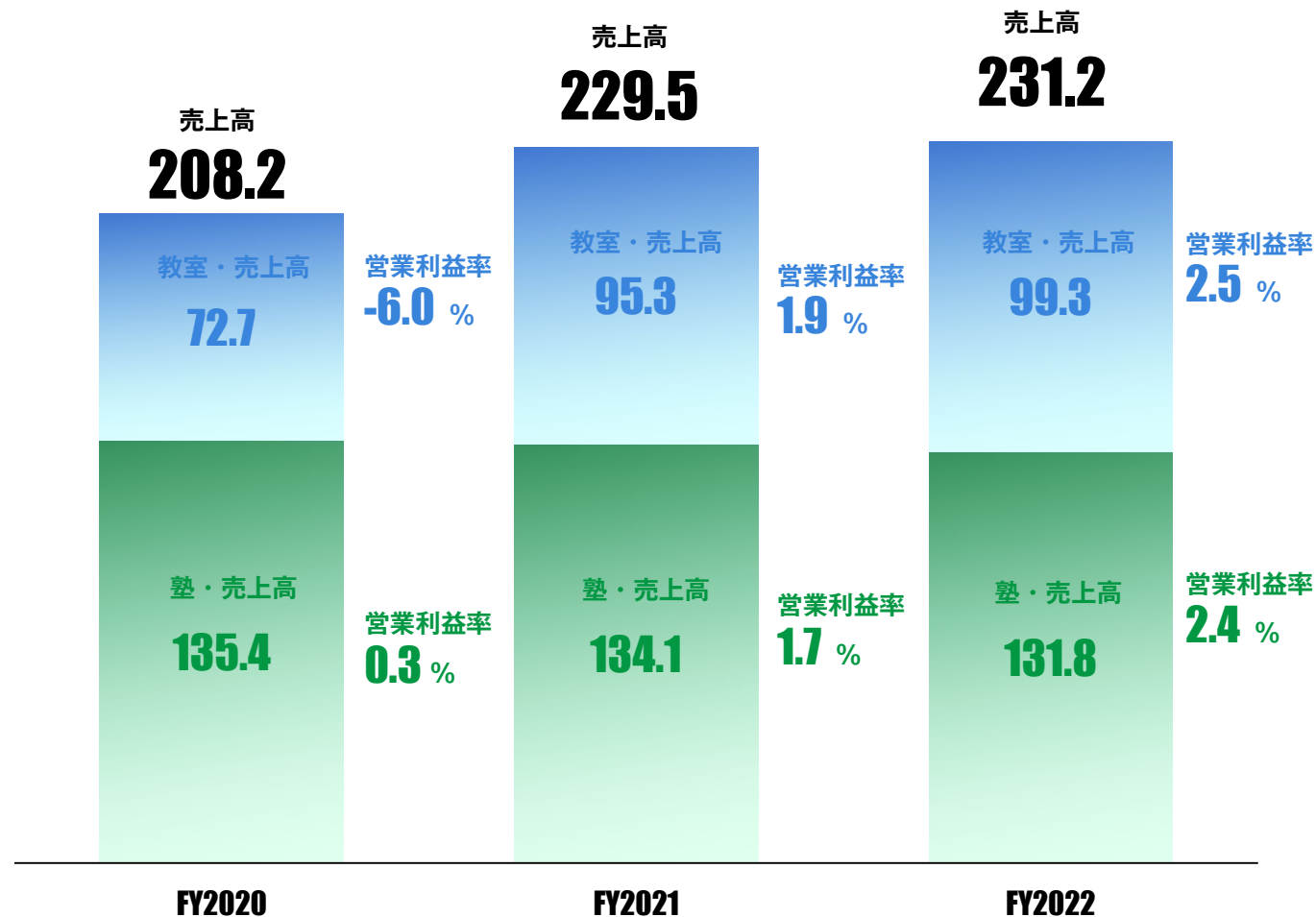
2022年9月期 第3四半期決算

幅広く子どもたちの学びを支援する3事業を展開。社会人向けのサービスも拡充しています。

- 1)教室・塾事業…………… 日常学習を支援する幼児教室・学研教室に加え、各地で進学塾を運営
- 2)出版コンテンツ事業… 児童書、学習参考書等の出版物や、eラーニング等を制作・販売
- 3)園・学校事業…………… 幼保園等への物販や教科書・教材の制作・販売。就職・採用支援も展開

教室・塾事業 第3四半期サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・ 利益率は2期連続上昇
- ・ 不採算塾校舎の合理化推進
- ・ オンラインサービス拡充や特別講習で顧客単価が上昇
- ・ めばえ教室の事業譲受（前期4Q）
- ・ 幼児教室の社内移管（前期1Q）により幼小接続強化

ネガティブ要素

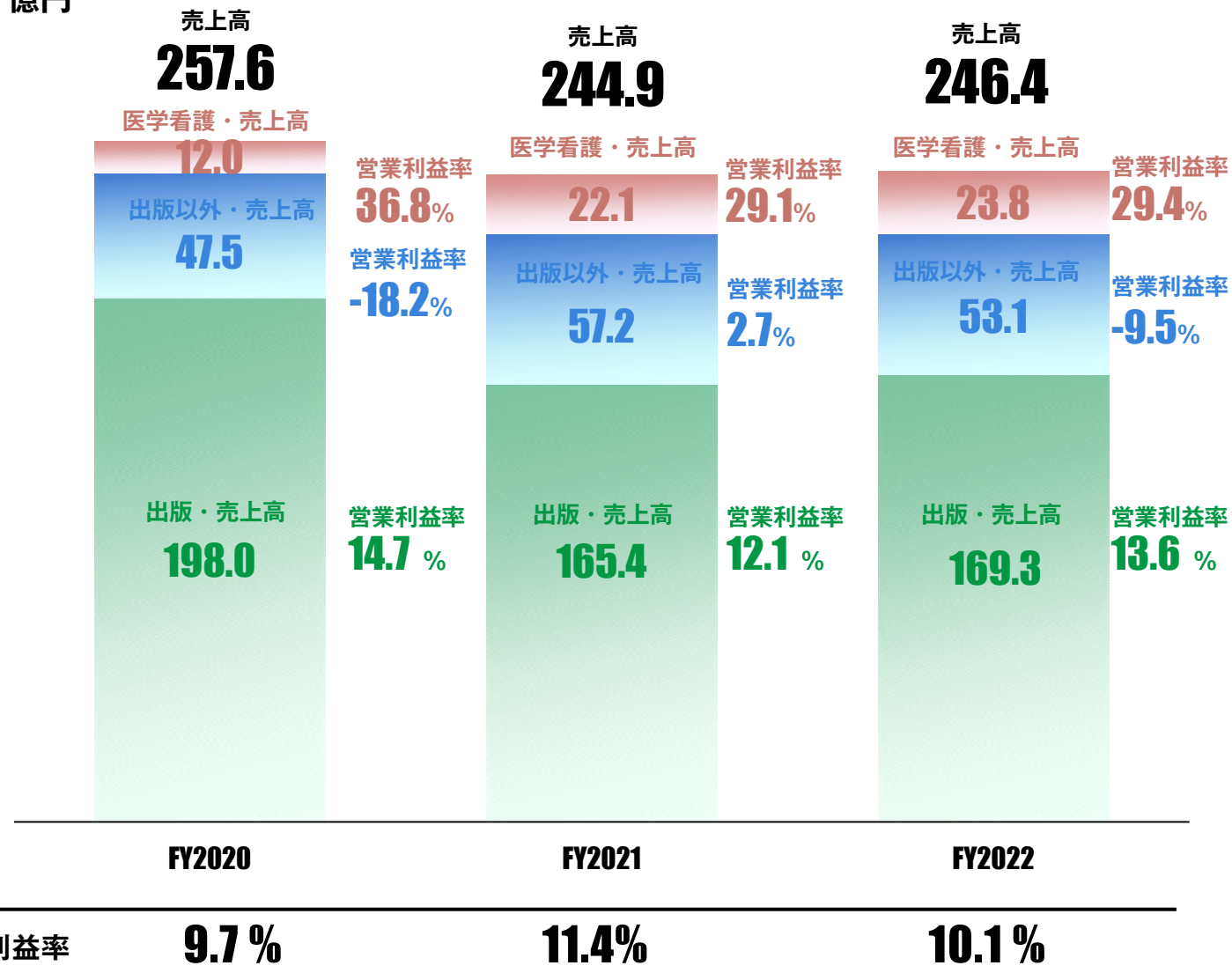
- ・ オミクロン株の感染拡大による新学期募集への影響と、会員、生徒数の回復遅延

営業利益率	FY2020	FY2021	FY2022
	-1.9%	1.8%	2.4%

※少数点第1位未満は切り捨てです。

出版コンテンツ事業 第3四半期サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・ 児童書が引き続き好調、図鑑の新刊も初速良好
- ・ 地図ガイド本で複数のヒット作
- ・ 看護師向けeラーニング契約 2,284病院（前年同期比+265）
- ・ 医書・看護書の電子書籍伸長

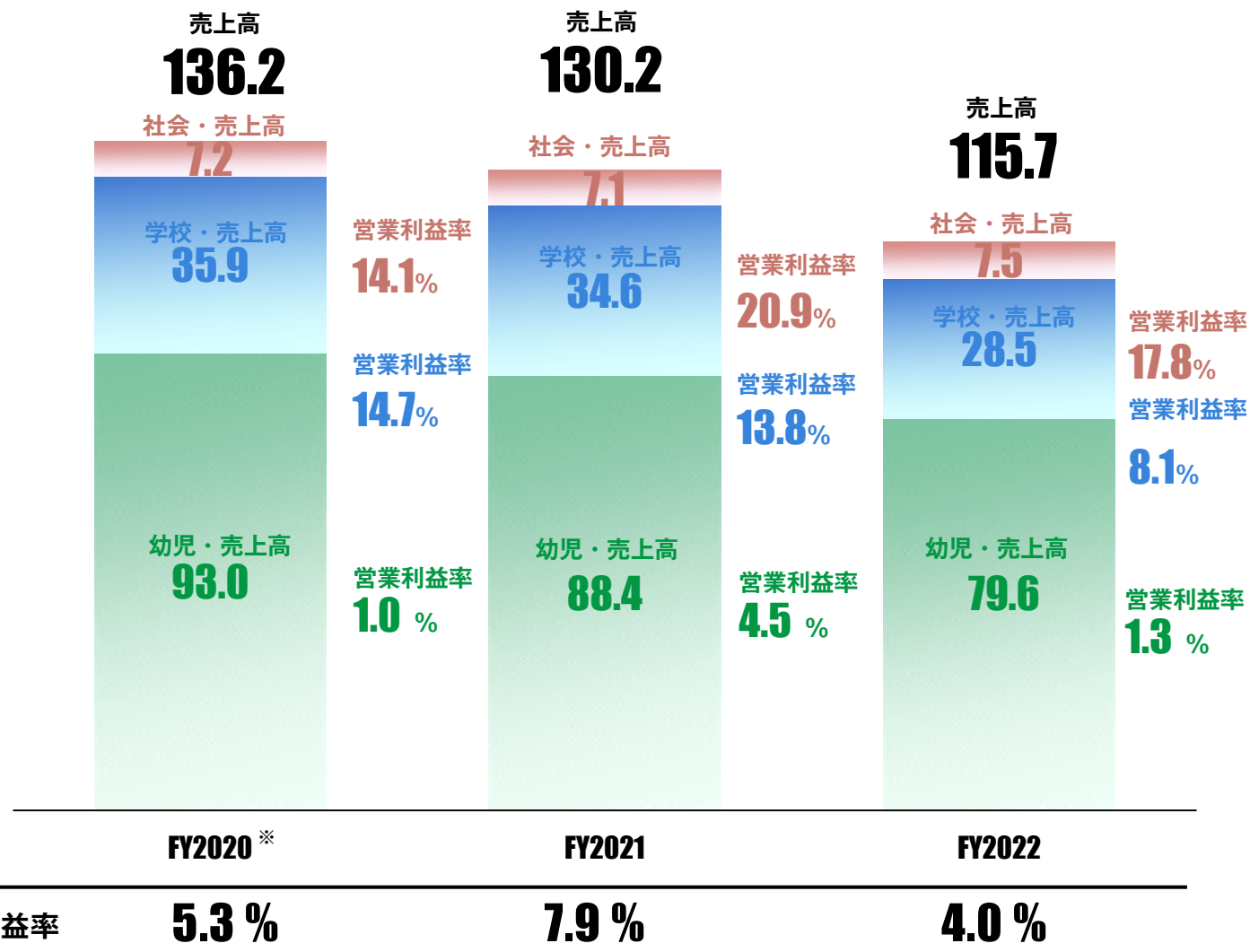
ネガティブ要素

- ・ オミクロン株影響により、体験型英語学習施設の利用・予約減
- ・ トイ市況悪化(上海ロックダウン、円安影響等)
- ・ 用紙代が値上がり傾向

※少数点第1位未満は切り捨てです。

園・学校事業 第3四半期サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・ 保育ICTシステム「ハグモー」伸長
- ・ 企業向け研修事業の伸長
- ・ デジタル教科書の納入校拡大

ネガティブ要素

- ・ オミクロン株の影響による
 幼保園向け備品・用品受注の大幅減
- ・ 学校教科書・指導書の反動減
- ・ 教員免許更新制度廃止に伴う、
 eラーニング事業の中止

※少数点第1位未満は切り捨てです。

※FY2020の売上高には、社内移管した幼児教室事業 19.1億円 を含みます。

医療福祉分野

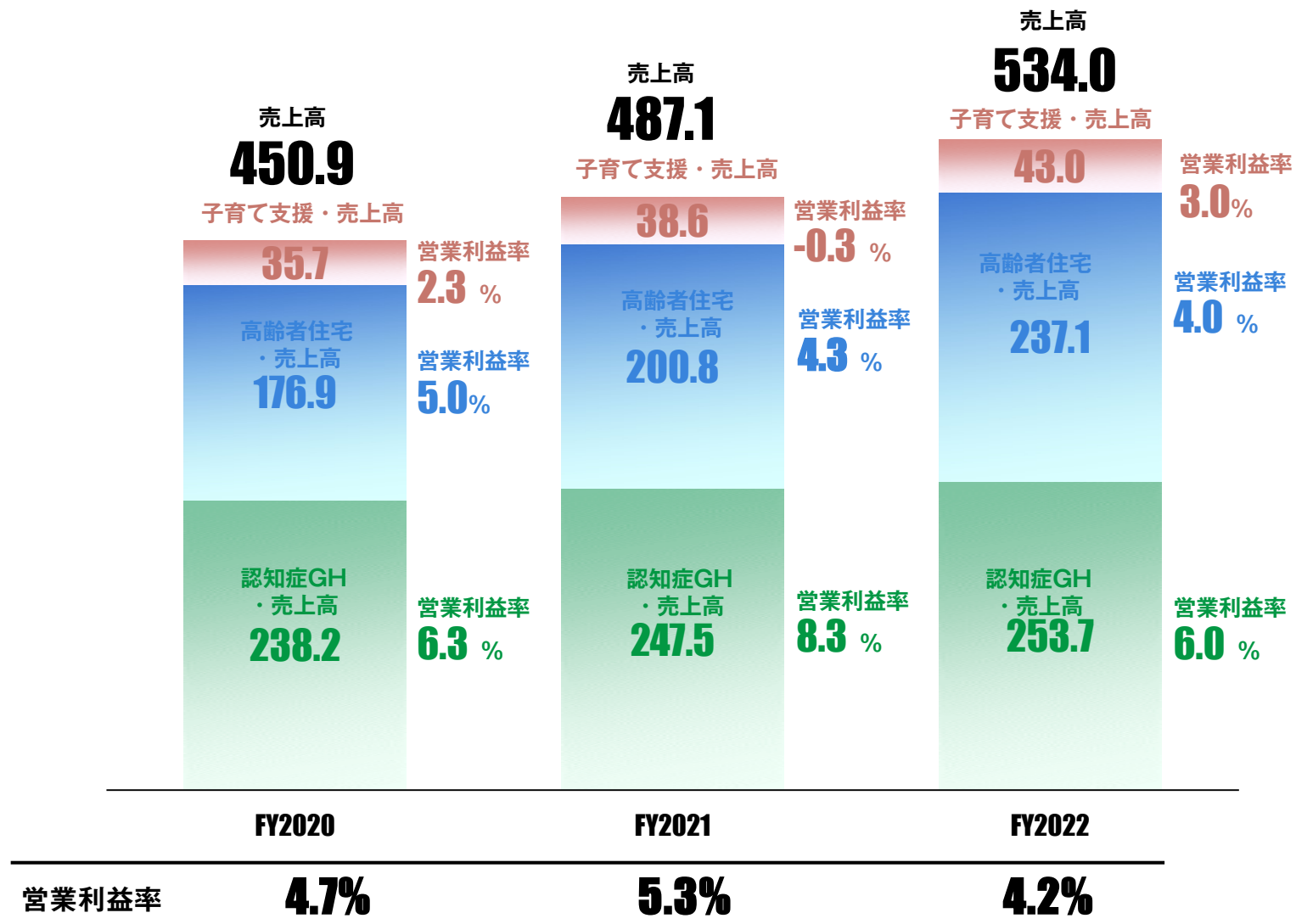
2022年9月期 第3四半期決算

3つの事業で少子高齢化の社会課題に挑み、多世代が安心して暮らせる街づくりを進めます。

- 1)高齢者住宅事業 … サービス付き高齢者向け住宅、介護サービス拠点等の企画・開発・運営
- 2)認知症グループホーム事業 … グループホームの運営や、関連サービスの企画・開発・運営
- 3)子育て支援事業 … 保育園・子ども園・学童施設・児童発達支援施設等の企画・開発・運営

医療福祉事業 第3四半期サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・新規開設順調（3Q累計）
 - サ高住（13拠点）
 - 認知症GH（5拠点）
- ・入居率、定員充足率上昇基調
 - サ高住 94.5%
 - 認知症GH 97.6%
 - 保育園 91.8%
- ・保育園の合理化による増益効果

ネガティブ要素

- ・認知症GH：前期2Qの不動産売却益、同3Qのコロナ関連助成金消失による利益減
- ・水道光熱費等の高騰によるコスト増
- ・コロナ再拡大影響による通所介護の利用回復鈍化

※少数点第1位未満は切り捨てです。

2022年9月期 第3四半期 決算総括

第3四半期 総括

- ◆売上高は11期連続の増収を記録
- ◆営業利益については23%の減益となったが、前期に計上した一過性利益の反動減と、計画的な経費利用に伴う費用平準化が要因
- ◆四半期純利益は、前期のメディカル・ケア・サービスの連結納税化に伴う一時的な税金増加要因が剥落したため増益
- ◆Gakken2023で掲げている、既存・新規事業の成長を両立するためグループ全体で不採算事業・間接業務の合理化を推進。
それにより確保した原資をデジタル、グローバル、新領域など成長分野へ振り向け、継続的な投資を実行

2022年9月期 通期計画

単位：億円

オミクロン株の再拡大や物価高騰によるリスクはあるものの、出版のヒット作創出やコスト効率化の進展により、現時点での見込と計画に大きな乖離はみられないため、通期見通しは変更しない

	FY2021 / 9 前期実績	FY2022 / 9 今期計画
売上高	1,502	1,570
営業利益	62	67
当期純利益	26	34
ROE	6.3 %	7.1 %
一株あたり配当金	22 円	24 円 (予想)
配当性向	34.1 %	30.7 % (予想)

中期経営計画 Gakken2023

「揺るぎない成長基盤の確立」

教育

新たな学びの創造と
多様な学習機会の創出

医療福祉

トップカンパニーを目指し
持続可能な街づくりに貢献

DXの加速とグローバル展開

グループガバナンスの強化と資本コスト経営

．．．
持続的な企業価値向上

2023年9月期 業績目標

売上

1,650 億円

営業利益

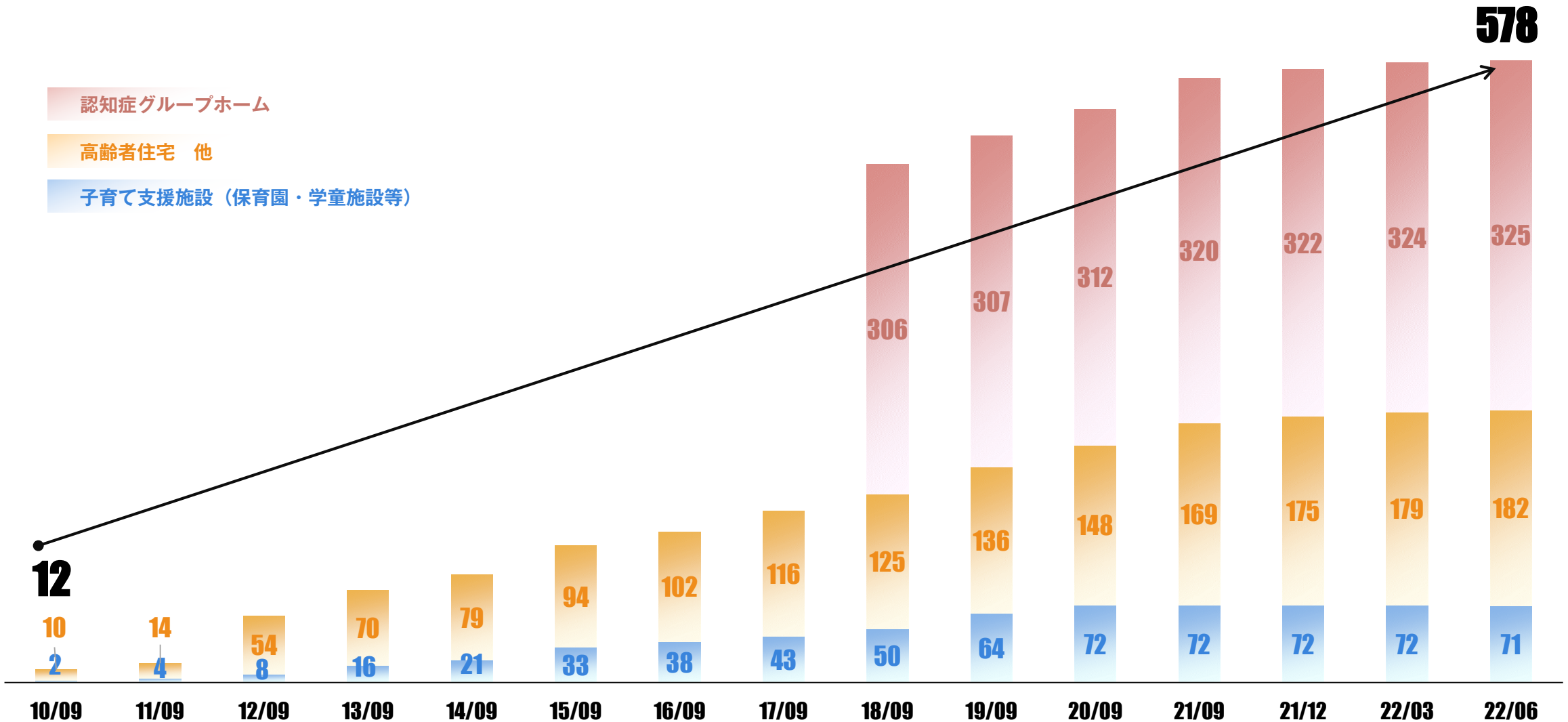
75 億円

営業利益率

4.5 %

**2022年9月期
第3四半期 決算補足資料**

医療福祉分野 拠点数



※記載の数値は新規開設数と閉鎖数の差し引きです。

医療福祉分野 2022年9月期 新規開設実績／計画

	21/10 – 22/06 1-3Q実績	21/10 - 22/09 通期計画
高齢者向け住宅	13	25
認知症グループホーム	5	16
子育て支援施設	3	6
合計	21	47

※子育て支援施設は保育園・学童施設・児童発達支援施設の合算です。

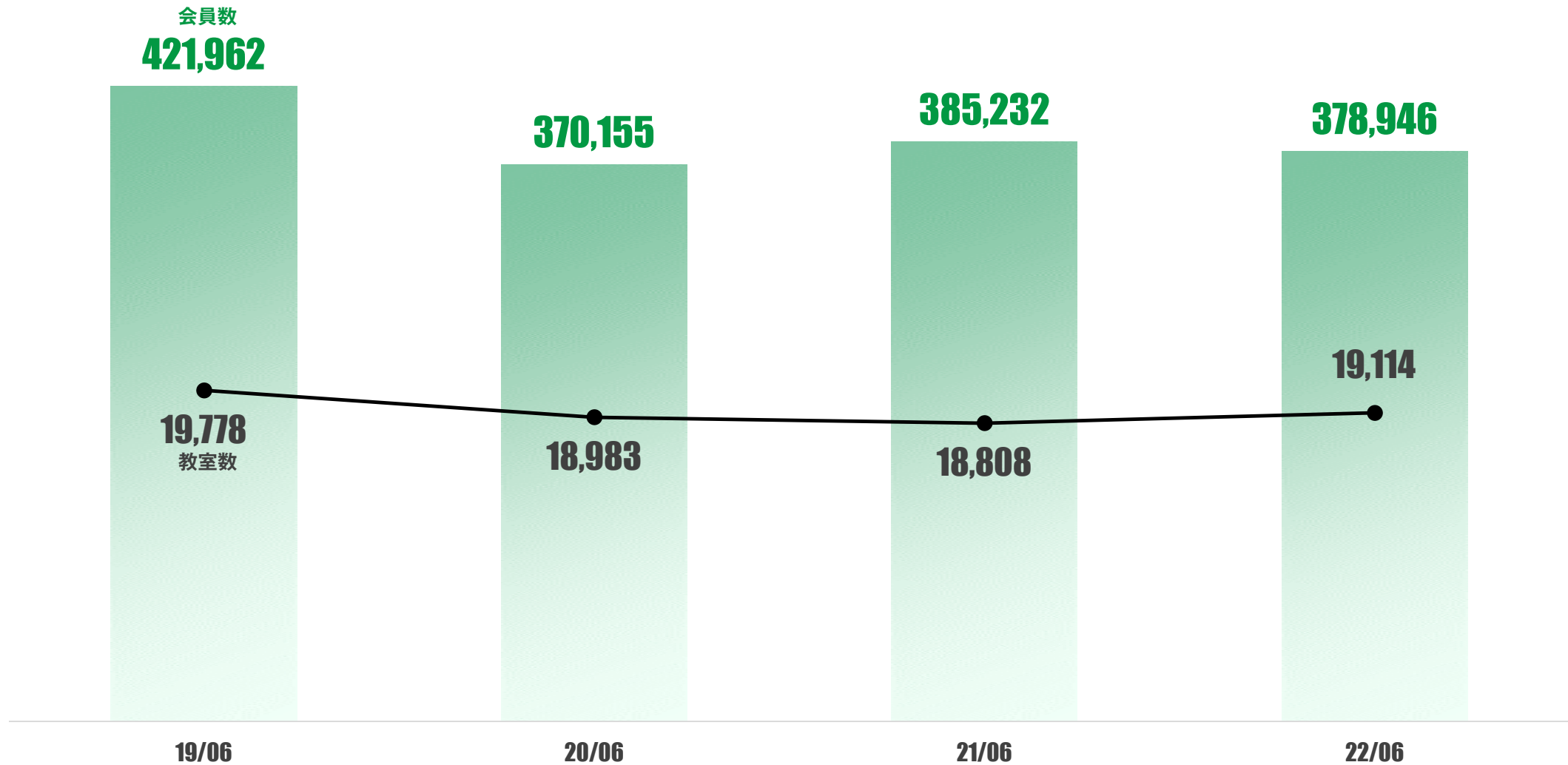
※記載の数値は、同期間の閉鎖数を差し引いていません。

医療福祉分野 入居率・充足率

		20/03	20/09	21/03	21/09	22/03	22/06	22/09 (計画)
高齢者向け住宅	総戸数	6,898	7,182	7,717	8,308	9,037	9,191	9,712
	入居数	6,289	6,600	6,985	7,505	8,345	8,688	9,017
	入居率	91.2%	91.9%	90.5%	90.3%	92.3%	94.5%	92.8%
認知症グループホーム	居室数	5,192	5,246	5,246	5,372	5,444	5,462	5,660
	入居率	98.0%	98.0%	98.0%	97.8%	97.6%	97.6%	97.5%
子育て支援施設	定員数	2,497	2,788	2,788	2,661	2,664	2,721	2,721
	園児数	2,107	2,381	2,389	2,443	2,441	2,497	2,512
	充足率	84.4%	85.4%	85.7%	91.8%	91.6%	91.8%	92.3%

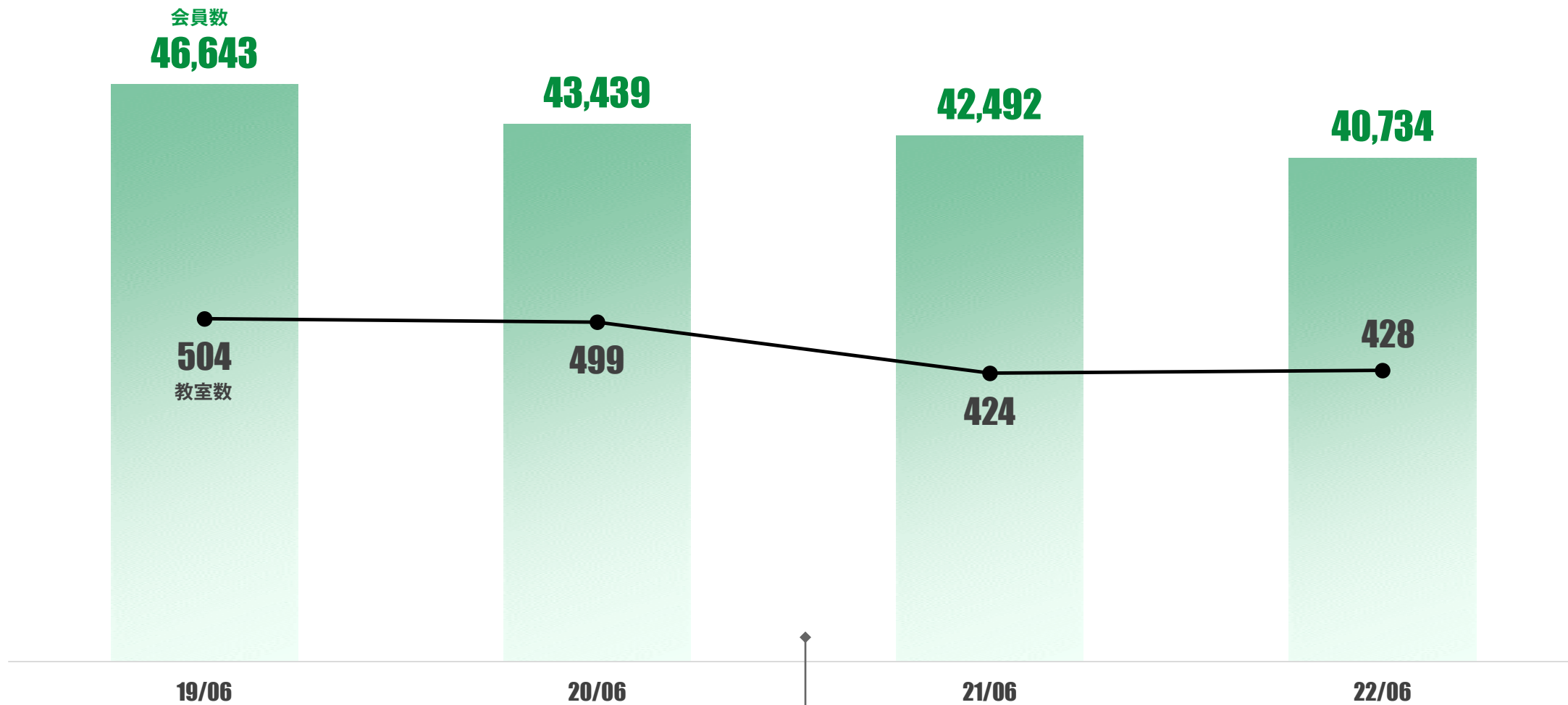
※認知症グループホームは、運営事業会社のメディカル・ケア・サービスが前期に決算期を変更しました。
これに伴い2021年3月以前の実績は、9月が「8月」、3月が「2月」をそれぞれ読み替えております。

教育分野 教室 会員数・教室数



※会員数、教室数は学研教室と幼児教室の合算です。事業譲受に伴い、2020年9月以降には小学館アカデミー、2021年7月以降にはめばえ教室の実績を含みます。

教育分野 塾 会員数・教室数



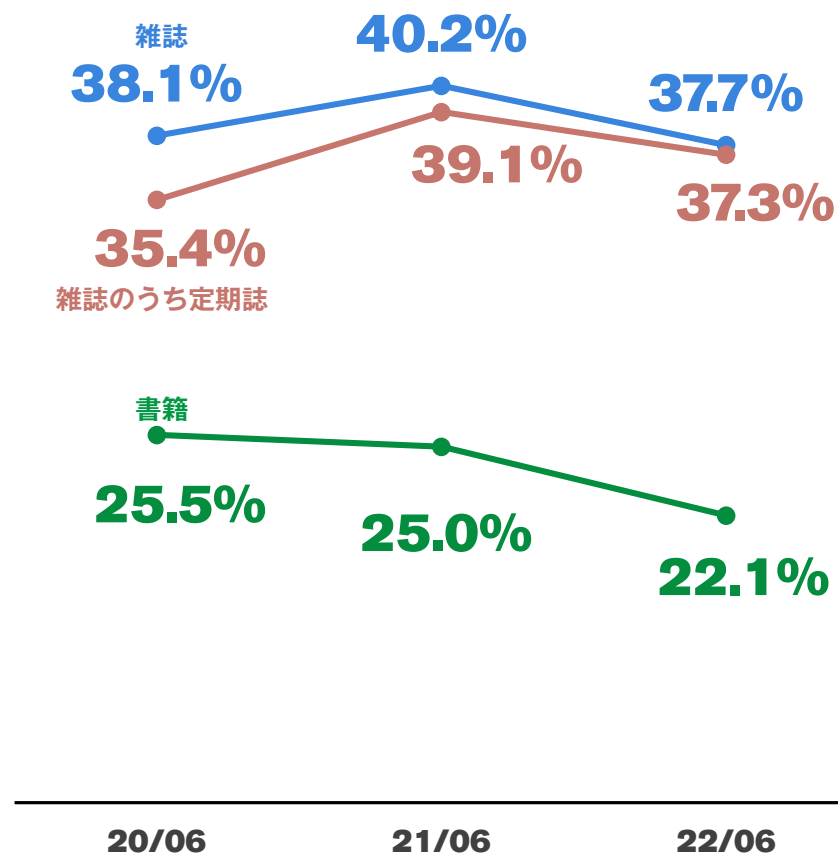
※2021年2月に学研アイズ、同3月にSIGN-1をそれぞれ収斂しました。

教育分野 出版 書籍新刊点数／返品率

書籍新刊点数 3Q累計 ※

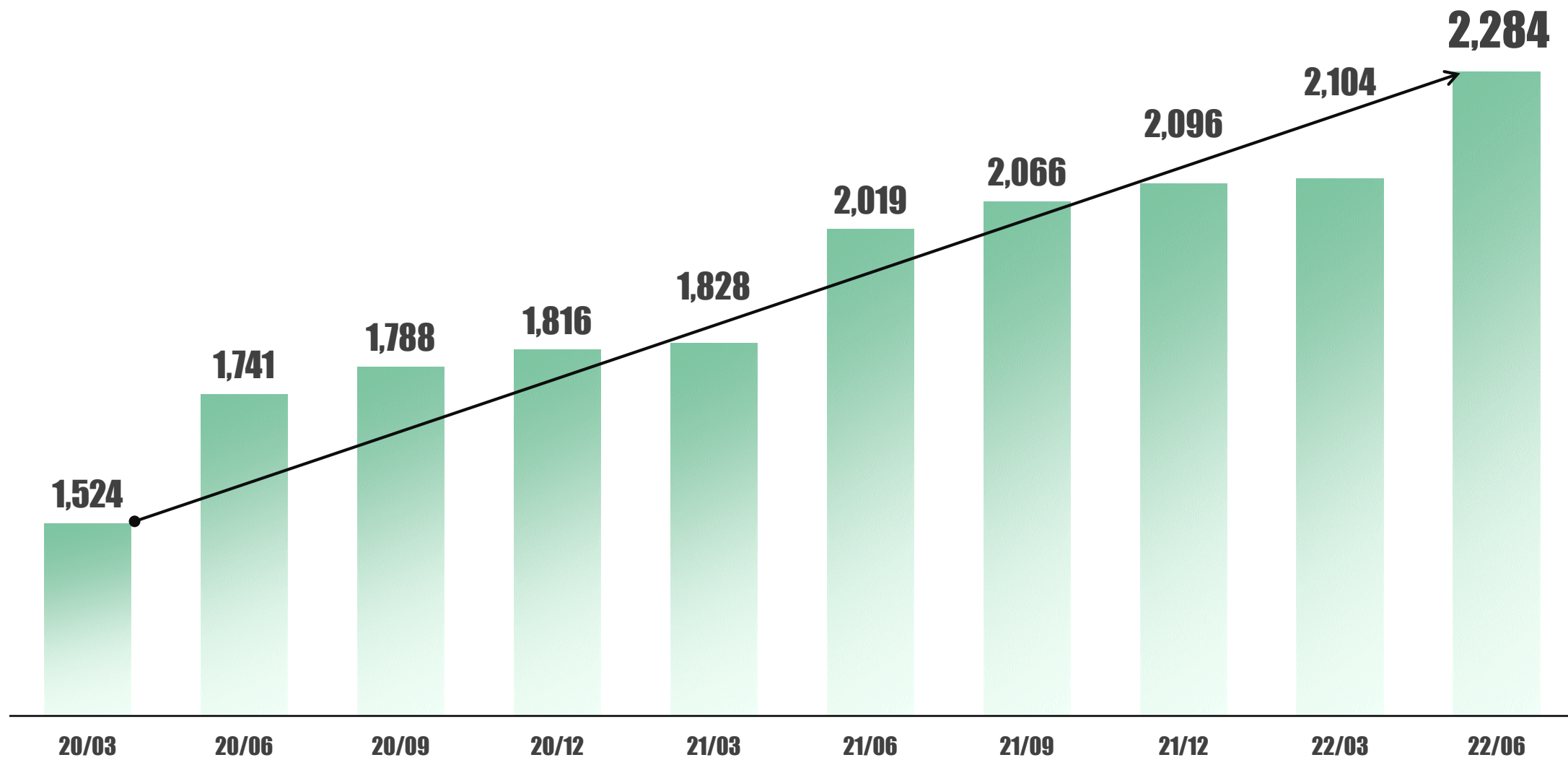
	20/06	21/06	22/06
児童書	136	149	138
学習参考書	214	137	147
実用書	101	117	136
ムック	48	23	26
その他書籍	129	66	85
合計	628	492	532

返品率 3Q累計 ※



※書籍（雑誌は含まず）発行点数及び返品率は学研プラスの実績のみ。学研メディカル秀潤社、文理は含みません。

教育分野 看護師向けeラーニング契約病院数



教育分野 教科書発行スケジュール

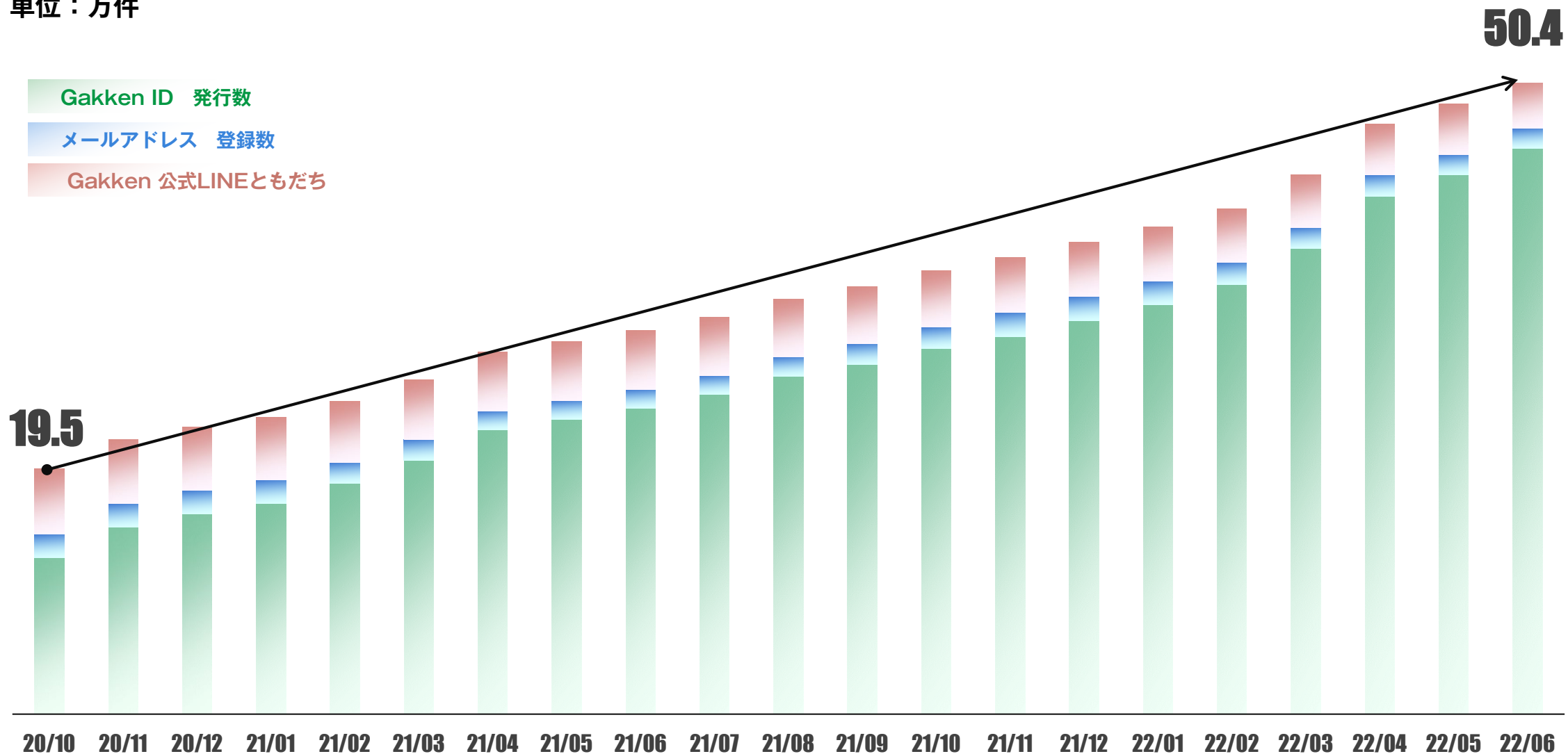
△ 検定：文部科学省の調査（教科書としての適正性） ● 採択：所管の教育委員会や校長による教科書の決定 ◎ 使用開始：各学校に供給し、児童生徒へ

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
小学 保健	△	●	◎		△	●	◎	
中学 保体		△	●	◎		△	●	◎
小学 道徳	△	●	◎		△	●	◎	
中学 道徳	●	◎				△	●	◎

※教師用指導書の売上は「◎使用開始」年度に集中します。

DX戦略 グループ・ダイレクト・タッチポイントの推移

単位：万件



Gakken

**Gakken Group hopes that everyone has fulfilling lives.
To this end, we provide inspiration, satisfaction, safety for today,
and dreams and hopes for tomorrow.**